

その他の建築工事業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	10~ 11	溜桧設置工事現場へ持って行く溜桧（500×500、30kg）を工業の資材置場でトラックに積み込む作業中、溜桧を持ち上げた時に腰が、ギクツとして急に痛みがきて、動けなくなり腰を痛めました。	44	1 ~ 9
1	13~ 14	第2資材センターにおいて、第1資材センターへ資材を運搬する為にトラックの荷台に立棒を積み込みしているとき、革手袋が荷台に引っかかり、立棒と荷台のドアに左手薬指を挟み負傷する。	57	30 ~ 49
2	9~10	建売住宅新築工事現場において、サイディング貼り工事をしていた。サイディング材を地上から約2m上の足場の上に載せる為、手で押し上げようとしている時、誤って手が滑り、サイディング材が滑り落ち、顔面に当たり、鼻を骨折した。	23	—
3	10~11	自宅作業場で約6mの梁を担いでトラックにのせようとしたところ、右ひざに痛みを覚え、そのまま立てなくなった。	39	1 ~ 9
3	11~12	工事現場内にて片付け作業及びゴミ清掃時、集木マスの奥に埋まっていたゴミを引っ張りあげようと無理な姿勢で作業していた時、右足に痛みを感じたが、そのまま作業を続けたところ激痛になり、歩けなくなってしまった。	54	10 ~ 29
3	8~9	屋根の上で瓦撤去作業中、鬼瓦を持ち上げようとした際に、力を入れようと力んだため腰を痛めた。	40	1 ~ 9
4	13~	屋根改修工事中に、8尺のカラートタンを屋根から脚立に乗っている被災者に手わたした時、予想以上にカラートタンが重く、脚立の上でふんばったがカラートタンを	35	1 ~

	14	後ろ側に落としてしまった。その際に体勢がくの字に曲がり、首から肩にかけて筋を伸ばした。		9
5	17～ 18	営業所で片付け、整理整頓作業中、車の中の道具を営業所内に入れる際に、手に持った50kg位の道具箱を手を滑らせて右足の上に落としてしまった。	25	10 ～ 29
5	9～ 10	当日運搬予定の荷物（鉄骨）の積荷確認作業中、積荷がずれて指を挟まれた。	46	10 ～ 29
6	15～ 16	個人宅耐震工事において、瓦を屋根へ運ぶ作業を続けていたところ、何往復目かの時に、ガラ袋を背負った際に痛みがはしった。その後も仕事を続けたが痛みが引かず、翌日からは仕事を休み様子を見たが、痛みがどんどん激しくなっていた。	62	1 ～ 9
7	8～9	第一工場にて鉄板を4tトラックに積む作業中にダンゼックスベルトが切れて鉄板が落下し、右足首に直撃し右足を受傷した。	54	50 ～ 99
7	9～10	ヤード内で部材整理中、体から離れた場所にある、公板F-4018を3枚一気に持とうと足を踏んばったところ腰を痛めた。F-4018タテ40cmヨコ180cm厚さ5cm重さ12.3kg	35	10 ～ 29
7	9～10	1階高床部にてRC柱補修工事で作業を行う柱の前に区画されて台車に載った設備冷媒ラック材があり、作業の支障になるため被災者自身で台車を押して移動しようとした。少し荷が崩れてしまったので資材を自分で直し、今度は引っ張って移動を試みた際、荷が自分の方へ崩れ、5.4kgの冷媒ラック4～5枚が被災者の左足の上に崩れ落ちて負傷した。	44	1 ～ 9
7	8～9	木造家屋撤去作業時に生じた産業廃棄物を選別の上、重機を使用し、底にコンクリートブロックを敷いた鉄製のコンテナに産業廃棄物を入れる作業中、そのコンテナ付近で作業をしていたところ、鉄製コンテナの底に敷いたコンクリートブロックが産業廃棄物の荷重に耐えきれず壊れてしまい、鉄製コンテナが被災者の足の上に落ちてしまい負傷した。	62	1 ～ 9

7	16~17	事業場屋外においてベニヤ板（1.82m×0.9m×5.5mm）を従業員2名にて複数枚ずつ移動作業中、移動先より当該ベニヤ板十数枚が滑り落ち、通りかかった負傷者の足に当たり、反対側に置いてある資材（通柱）に倒れ受傷した。	77	~ 29	10
7	7~8	朝現場に出発する前の準備中、トラック荷台よりエアコンを降ろすときに、腰に負担がかかり痛めてしまった。	44	~ 29	10
7	14~ 15	資材置場において、足場を組む資材の片付け整理をしていたとき、高さ約2mの資材の上に登り、下に置いてある鉄パイプ（長さ約3m、重さ約7kg~8kg）を、しゃがみこんで1本持ち上げようとしたときにバランスを崩し、体勢が悪いまま飛び降り、右足から着地したとき、地面が砂利のため右足が滑ってしまい、右肩から地面に強打ち負傷した。	47	~ 29	10
7	10~ 11	資材搬出の荷降し作業の補助中、吊荷の着地時に、吊荷の梱包がゆるみ、吊荷の間に指が入り、指を負傷した。	24	~ 29	10
7	6~7	事務所兼寮に事業主が迎えに来たので、トランクに道具箱（幅1200mm×奥行600mm×高さ600mm、重さ30kg程度）を積み込んでいた。一人で道具箱を抱えトランクに乗せた際、きちんと乗りきっておらず、ずり落ちてしまい、道具箱が傾き、そのまま右足の上に落下し骨折した。	18	~ 9	1
9	18~ 19	当社倉庫にて、作業トラックから荷降ろしをしていたところ、荷台の資材を持ったが予想外に重く（20kg程度）よろけて、しりもちをついたはずみに右手を捻った。	47	~ 9	1
9	7~8	発注された戸建て建売新築工事現場に材料等を持って行く為、資材置き場において、約20kgある道具箱を両手で積み込み作業中、勢いよく持ち上げたら、思っていた以上に重くバランスを崩して踏ん張った際に腰に負担がかかり、腰から背中にかけて激痛が走り負傷する。	34	~ 9	1
9	17~ 18	現場内清掃工場更新施設整備運営事業建設工事で、型枠材を4トンユニック車に積み込んでいる時に、被災者本人が積み込んだ型枠材の上（地盤より1.9m）に乗り荷造り作業を行おうとした時、バランスを崩しアスファルト舗装面の碎石上に転落し、	66	~	1

		顔面右頬と右脇腹を強打した。		9
9	13～ 14	倉庫にて重機のバケットを片付けるのにバケットを単管で吊り上げた所、バケットが傾いて単管を滑り単管とバケットで左手人差し指を挟む。	48	1 ～ 9
10	9～ 10	当社支店内装工事現場に於いて資材を積んだトラックから荷下ろし作業中、鉄材（約70kg）が、突然荷崩れを起こし、左足の上に落下し負傷したもの。	19	10 ～ 29
10	16～ 17	現場での仕事を終了し、車で会社に戻り会社の作業場において、車から電動工具を降ろそうとした際、腰に激痛が生じ、動けない状態になった。	39	1 ～ 9
11	10～ 11	休憩時間終了時に作業場に戻るため3階から2階に続く階段を急いで降りていたところ、階段を踏み外して転倒した。右膝から出血し、3cm程度の切り傷が出来る。右膝挫創、右膝後十字靭帯損傷し、全治1か月と診断される。	32	10 ～ 29
12	14～15	当社資材置場にて、4tユニック車を使い足場資材の整頓中、足場材束（1束の高さ1.5m程）に乗って2段目部分を下に降ろそうと玉掛ワイヤーを掛けようとしたところ、1段目足場材束の縁に足を滑らせ地面に飛び下りたところ左足を複雑骨折した。	54	—
12	13～14	会社の置き場で、3連ハシゴを運ぶ途中に、ハシゴの下を持ちすぎて、自分の左肩に落ち、左肩の骨が欠けた。	24	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html